

久斗山地区公民館だより



令和2年

8月号

27日発行

久斗山地区公民館

ご挨拶

残暑お見舞い申し上げます。そろそろ秋の気配がする頃、朝晩はだいぶ涼しくなりましたが日中の最高気温が35℃を越える猛暑の日もあり、水分をしっかり摂って熱中症には十分注意しましょう。さて、懸念していた新型コロナの感染者が町内からも出てしまい、今月予定していた行事も幾つか中止になりました。減少していた全国の感染者も再び増加しています。マスク、手洗い、換気、3密を避けるなど感染予防にいっそう気を配りましょう。コロナに負けるな！

【夏の特集、その1：やっぱり夏は海！】

暑い夏は海が最高ですね。今年はコロナの影響で、鳥取県の海水浴場では入場禁止になった場所もありましたが、但馬は泳げました。町内では浜坂県民サンビーチや諸寄サンビーチ、塩谷などがありますが、お勧めは居組サンビーチです。居組漁港の西側にあり、こじんまりした遠浅の砂浜で小さな子供でも安心して泳げます。久斗山の子ども会で行く夏の海水浴では定番の場所でした。駐車場の料金が今年から500円アップして、1台1500円になったのは少し痛いですが、その分シャワー付きです。更に今年からカヤックの体験（シーカヤック）ができるようになりました（問い合わせ先：地域おこし協力隊、松岡浜坂観光協会内）。カヤックで居組周辺のメラ湾や亀山洞門などに行くことができ、山陰海岸ジオパークの大自然を満喫できます。9月中も波の穏やかな週末などに実施しているので、興味のある方はぜひチャレンジしてみてください。



居組サンビーチ海の家



こじんまりした砂浜



居組湾内は穏やか



シーカヤックで行く



アオウミウシとムラサキウニ



穴見海岸まで遠出

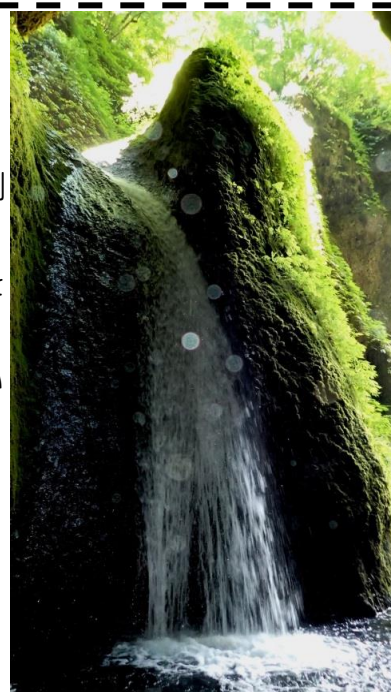
【夏の特集その2：涼しい滝に行こう！シワガラの滝】

上山高原を源流とする小又川は、岸田川の支流の1つです。付近の岩石は浸食されやすい堆積岩のため、谷幅が狭く深い“V”字谷となり、途中にはいくつかの滝があります。その1つ「シワガラの滝」は、落差10mほどですが、洞窟の中に流れ落ちる滝として全国的にも例が少なく、雑誌やSNSに紹介されたことから最近では各地から多くの人々が訪れています。観光会社のツアーも組まれたりして、今月はお盆明けから1日おきぐらいの頻度で、ガイドをしています。滝までは入口から1,200mほど距離があり、途中は鎖が設置してある急斜面があるため、登山ができるような服装でないと危険です。谷に下ってから100mほど沢沿いを歩くので、長靴か、濡れてもいい靴の方が良いです。夏場、滝の流れ落ちる洞窟の中は天然のクーラーが効いていて、とても涼しく気持ちが良いです。



急な道を谷に下る

シワガラ
の滝と
その内部



【コロナで盆踊りも中止に…】

お盆の14日は、グランドの中央に櫓を建て提灯を飾り祭壇にその年に初盆だった故人や戦没者の遺影を飾って、夜は帰省客や多くの村の人が集まり、太鼓の音頭で供養踊りが行われて賑わいます。しかし、今年は残念ながら、新型コロナウィルスの感染者が町内で出たため、供養踊りは中止となりました。でも、祭壇は祀ろうということで、当番の下地区の人らによって午後から準備が行われました。今年は3軒の家で初盆があり、その遺影が祀られました。夜は提灯に灯りがともされ、参拝者が線香に火をつけて故人を偲んでいました。今年は墓参りの帰省も自粛で少く、静かなお盆でした。



初盆の祭壇は祀られた



【村総出で河川と農道の草刈り】

村総出の作業、河川愛護（8月2日）と道路愛護（8月23日）が今年も実施されました。河川の草は、以前はツルヨシが繁茂して刈るのも大変でしたが、今はシカが草を食べるので短い草しかなくて、比較的楽でした。道路の草も少なかったですが、シカが食べないススキなどの草が茂っていました。皆さんお疲れさまでした。



【カブトムシ、無事に羽化しました】

4月に隣の田村さんから提供していただいた数百匹のカブトムシの幼虫ですが、小学校などに配布しましたが、その後多くの成虫が羽化しました。我家の幼虫も、7月末に蛹になり、8月10日に羽化しました。



カブトムシのオス

○令和2年 9月の行事

- 6日(日) 新温泉町立浜坂中学校 秋季運動会
- 12日(土) 新温泉町立浜坂東小学校 秋季運動会
- 13日(日) 久斗山柵の山の口(6:00～)
- 13日(日) 子供自然教室 鳴く虫の観察会(18:00～20:00.久斗山公民館)
- 24日(木) 小又川トレッキング(9:00～15:00) 上山高原エコミュージアム



県民文化普及事業 一ふれあいの祭典ー

「ひょうご邦楽の祭典」

- 開催日:9月13日(日)12:30～16:00
- 場所:県立芸術文化センター阪急中ホール
- 入場料:無料
- 問合せ:078-231-1731

「ひょうご日本民謡フェスティバル」

- 開催日:9月20日(日)12:30～17:00
- 場所:新長田勤労市民センター別館ビブレホール
- 入場料:無料
- 問合せ:078-861-4583

「アンサンブル・フェスティバル兵庫2020」

- 開催日:9月27日(日)15:00～18:00
- 場所:県立芸術文化センター神戸女学院ホール
- 入場料:無料(整理券必要)
- 問合せ:078-367-3560

(公財)兵庫県芸術文化協会



甘い香りを放つクズの花

今月の野草 クズ

野山の樹木などに絡みつく蔓植物。大きな3枚の葉が茂り、八月の中ごろに紫色の花を咲かせ、ブドウに似た甘い香りがします。太くなった根に澱粉が溜まり、吉野葛として利用されてきました。名前の由来は、この葛粉の産地から来ているそうです。蔓と共に古くから人の役に立ってきましたが、今は藪になって茂り、雑草として厄介者です。

かってに昔話 桃太郎岩の鬼 (第二話)

作、いっこう

大岩が、大味の村はずれの田んぼのそばに転げ着き、やがて五百年の歳月が経ちました。いつの頃から、村人の間で奇妙な噂が囁かれるようになりました。それは、夜になると大岩から人の囁く声や、時には泣き声が聞こえるというのです。それからというもの、田んぼで野良仕事をする村人は気味悪がって、夕暮れが近づくと慌てて仕事を終えて家路につくのでした。ある年の夏、村一番の元氣者である剛太は、若衆の酒の席で、「おりゃあ、この世に怖いもんはなんもねえ。その証拠に、今晚、あの大岩に行つて、何をしゃべってるか、話を聞いてきたら」そう、豪語したのでした。さて、夜になって酒の酔いが醒めた剛太ですが、もう行くしかありません。手に提灯の明かりを持って、一人、農道を大岩のある田んぼへと歩いて行きました。その日の夜は、それまで夏の満天の星空だったのに、どんより曇り、蒸し暑い夜でした。かなりビビりながら大岩に近づいた剛太は、耳をそばだてました。ふと気がつく、それまで鳴いていたカエルや虫の草の虫の声もピタリと止まっています。そして、大岩から何やら聞こえてきたのです。それは最初、濁った沼の底から湧き出たあぶくが水面で割れるような、そんな音に聞こえました。「なんじゃ・・・？」不思議に思った剛太は、怖さより好奇心が勝り、大岩にさらに耳を近づけました。するとはっきりと聞こえたのです。(つづく)